

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時間
災害心理学 Disaster Psychologu		1年・2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択 (社会福祉主事科目)	なし

当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目

心理学

同時に履修しておくことが望まれる科目

なし

担当者に関する情報			
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
小竹仁美	講義棟3階	水・木・金 (授業時間と学生相談時間を除く)	授業中に指示します

授業の概要

日本は災害多発国であり、いっどこで災害が発生するかわからない。災害時の混乱に対処し、被害を最小限に抑えるためには災害時の人間の心理や行動の特徴を知っておくことが大切である。本講義では①予測困難な自然災害や事故などの災害に遭った時の人間の心理と行動の特徴、②災害体験による心理的变化の特徴、③災害時にどのような行動をとり、どのような支援ができるか、を主たる学習内容とする。

授業の目標

この授業では①災害時と平時では人間の行動と心理が異なることを踏まえ、緊急時に避難する際の準備行動を身に付けることができるようにする。②災害体験による人間の心理的变化はさまざまであることを念頭に、被災者の立場に立った支援の基本的行動を身に付けることができるようにする。

授業の方法

講義とグループワーク

学習の成果 (学習成果)

①地域のハザードマップを活用し、災害時に自らの命を守る行動をとることができる。②災害体験が人間に与える影響とその心理的变化を踏まえ、被災者の心を守る支援的行動をとることができる。③災害体験後のストレス障害が長期にわたって当事者の心身に悪影響を及ぼすことがあることを念頭に、長期的・持続的な支援の必要性を認識し、自らにできる支援行動をとることができる。

授業のスケジュールと内容

第1回目	ガイダンス : 授業の概要や目標の説明 成績評価や受講上のルールの説明 災害映像視聴		
第2回目	平時の人間行動と災害時の人間行動		
第3回目	避難行動を左右するもの 環境を判断する要因 *レポート 地域のハザードマップ調べ (提出は4回目の授業日)		
第4回目	コミュニケーションと災害時の情報伝達		
第5回目	パニック行動を起こす心理 自己コントロール		
第6回目	災害時のデマ		

第7回目	グループワーク（避難所への避難、 非常食）		
第8回目	災害と記憶	* 中間試験（レポート）	過去の災害調べ（提出は9回目の授業日）
第9回目	災害体験による心理的变化 身体反応と感情		
第10回目	ストレス障害 ストレスの種類と症状		
第11回目	子どもや高齢者の心理 災害弱者		
第12回目	災害と援助行動		
第13回目	支援者のストレス 支援者支援		
第14回目	災害時の心理的支援 期末試験		
第15回目	期末試験解説 日頃からの防災行動		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業に集中して、しっかりノートをとっている。グループワークで意見を述べ、他のメンバーへの配慮がみられる。	
レポート	30%	課題の目的を理解し、詳細に課題を探求し、内容構成がしっかりしている。	
調査報告書			
小テスト			
試験	50%	中間試験（レポート）：課題の目的を理解し、詳細に課題を探求し、内容構成がしっかりしている。期末試験：得点率6割以上を合格とする。授業参加態度、レポート、中間・期末試験の総得点が9割以上をSとする。	
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
教科書は使用しない。毎回、資料を配布する。			
履修上の留意点・ルール			
長期の避難生活を送る方たちの心情を理解するように努めることを期待する。			